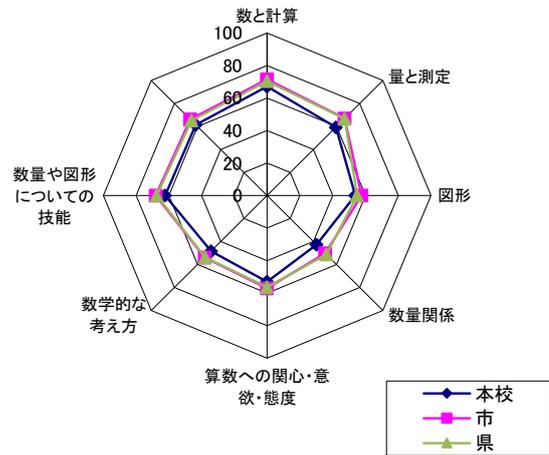


# 宇都宮市立桜小学校 第5学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	67.1	71.5	70.4
	量と測定	59.4	67.0	66.9
	図形	53.8	57.6	55.0
	数量関係	42.7	50.2	51.1
観点	算数への関心・意欲・態度	53.0	57.0	56.3
	数学的な考え方	48.3	53.8	53.6
	数量や図形についての技能	62.3	68.0	67.4
	数量や図形についての知識・理解	61.5	66.3	65.4



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○数の相対的な大きさの理解, 分数の大小関係, 概数の表し方の問題は, 正答率が県の平均を上回っている。 ●わり算や小数の計算問題では, 正答率が県や市の平均を下回っている。	・計算については, 学校や家庭でのドリル学習などで繰り返し学習に取り組み, 確実に身に付けられるようにしていく。 ・数の大きさや概数など理解が進んでいるものについては, さらに理解が深まるよう指導を充実させる。
量と測定	○複合図形の面積の求め方の式を図から考えて答える問題は, 正答率が県の平均を上回っている。 ●角の大きさを求める問題は, 正答率が県や市の平均を下回っている。	・角度については, 分度器を使用して角度を求める学習を充実させ, 角度の測定の仕方に慣れさせるようにする。 ・面積については, 問題を読んで正しく立式することが確実にできるよう練習問題等に取り組みさせる。
図形	○昨年度は三角形の作図が県の平均を下回っていたが, 今年度はひし形の作図の正答率が県の平均と同程度になっている。 ●直方体のある辺に垂直な辺を求める問題において, 市や県の平均を下回っている。	・作図についてはコンパスや定規の使い方を丁寧に指導し, 反復練習を行う。 ・立体については, 模型等を活用し理解を深めるよう指導の充実を図る。
数量関係	○四則の計算の順序や, 分配法則の問題において, 県の平均と同程度の正答率である。 ●グラフや表を読み取る問題において市や県の平均を下回っており, 理由を言葉で説明する問題は無回答が多い。	・グラフや表にあらわされたデータから数量の関係を見つけ出すことができる練習を重ねていく。 ・理由を説明する課題については, 言語活動の充実を図り, 言葉で説明する力をつけていく。